

ゆいのき

「 みんなが 楽しく 城山中央小学校 」

第5号

令和2年12月

室田和宏

2020年をふりかえり 2021年へのステップを！

12月を迎え、今年は特に月日が早く流れたような気がします。コロナ禍は未だ先が見通せず予断を許さない状態が続いていますが、心配されていた運動会などの学校行事もひと段落し、子どもたちは学習のまとめに取り組みんでいます。例年よりも速いペースで進む学習に、粘り強く取り組み続けた子どもたちに賛辞を贈りたいと思います。では、いつもの年よりも少し遅め、11月12日に開催した運動会の様子を紹介します。

～ 心を燃やせ 熱き絆を 城山に ～



最後まで力の限り



応援団は健在です



応援グッズで盛り上げます



1・2年玉入れ



3・4年台風目



5・6年陣取り綱引き

令和2年度の運動会は344対294、赤組の逆転優勝で幕を閉じました。各学年、一步も譲らぬ熱戦を繰り広げ、最終種目の対抗リレーが始まるまで、得点は拮抗しました。個人走では、途中で転んでも決してあきらめずに最後まで走りぬく姿、団体競技では一致団結して勝利に向かって協力する姿、相手をリスペクトして正々堂々とスポーツマンシップを発揮する姿。会場にいた誰もが感動しました。コンパクトな開催を目指した運動会、PTA執行部の皆さんには安全な開催のためにご尽力をいただきました。残念ながら、地域の皆様にご覧いただくことはかなわず、感動を共にできなかったことは大変心残りではありますが、子どもたちは、思う存分に力を発揮することができました。コロナ禍の特別な運動会。みんなで創り上げた感動は、普段では味わえないものでもありました。

収穫の秋 大豊作のおいもほり！

10月30日（金）の朝、ある男の子が、手に長靴の入った袋を下げて登校してきました。目をキラキラさせて「今日はお芋ほりに行くから、元気が出るように朝ご飯をいっぱい食べてきたんだ！」「そうか！頑張ってるね。たくさんお芋がとれるといいね。」さて、今年の収穫は・・・大豊作でした。両手に抱えきれないほどのお芋を持ち帰って帰りました。長靴を一緒に持ち帰るのが無理なので来週にまわしたり、低学年では一度に運びきれないので、2日に分けて持ち帰らせたりと、うれしい悲鳴が聞かれるくらい。今年、春の苗植えから丁寧に指導いただいた安納心清様、小野口勝仁様、農園をご提供いただいた渡邊裕様、ありがとうございました。秋晴れのもと、とても豊かな体験活動ができました。



<<学習指導員・スクールサポートスタッフが着任しました！>>

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した学校教育活動を支援することを目的に、学習指導員、及び、スクールサポートスタッフが11月から緊急的に配置されました。2月の末日まで交代勤務をするようになります。どうぞよろしくお願い致します。顔ぶれは以下の通りです。

学習指導員	スクールサポートスタッフ
○加藤美恵子・・・主に6年をサポート。3年算数補助。 (月、火、金曜日に勤務)	○原沢 美喜(月、水曜日勤務)
○鈴木 祥子・・・主に4、5年の書写を担当。(水曜日)	○安納 広恵(火曜日勤務)
○福田ミツ子・・・主に1から3年の書写を担当。(水曜日)	○石川理恵子(木曜日勤務)
	○小久保里絵(金曜日勤務)

<<小中一貫教育（乗り入れ授業・合同あいさつ運動）>>

朝、中学生とすれ違ふと、必ず「おはようございます」と挨拶をしてくれてとても良い気持ちになります。城山地区には本当に素晴らしい伝統が根付いているなあと感じます。本市で小中一貫教育への取り組みが始まってしばらく経ちますが、先輩方が地域と一体となって取り組んできた成果を、身をもって感じます。先週は中学校から国語の田代智章先生、数学の直井大輔先生、英語の浦野真寿美先生が来校し、6年生への乗り入れ授業を実施しました。子どもたちの意欲的な様子に、3名とも笑顔で「授業を楽しませてもらいました」と感想を話してくれました。6年生にとって、中学校の先生の授業はとても貴重な体験です。あいさつ運動も中学校と合同で実施しました。企画委員会の児童が「まごころあいさつ日本一週間」とネーミングして、自作のタスキを胸にあいさつ運動をさらに盛り上げました。



指導しましょう「公園などの過ごし方」

「先日公園で、ゴミ拾いをしている6年生を見ました。素晴らしい行いを是非ほめてあげて下さい。」

「今年は公園のゴミがとて少なくなっています。みなさん気を付けているのでしょうか。」

しかし一方・・・学校マネジメントのアンケートにはこのような意見をいただきました。

「石野森公園にお菓子の袋やペットボトルが落ちていて、少し残念です。いつもキレイだといいなと思います。」「道路で遊ばないように教育して下さい。とてもあぶないので、きびしく指導して下さい。」

学校では先日、縦割り班で校外に出かけ、「まごころ清掃」を実施しました。道路のゴミや公園の植え込みの中の空き缶など、たくさん集まりました。放課後の過ごし方についても、今後、繰り返し指導を継続してまいります。

しかし、放課後の生活につきましては、各ご家庭に委ねられています。また、遊びに夢中でついつい気が緩みがちです。この機会に公共の場所での過ごし方についてふりかえり、是非一度お子様と話し合い、ご指導をお願いいたします。「すべての家庭で必ず指導する。」が必要です。城央小の「家庭力」を発揮する時です。



<<「うつのみやマネジメントシステムアンケート」集計速報>>

- 時と場に応じたあいさつを R1の肯定割合 77.1% → R2 86.5%(保護者)
- いじめ対策の取り組み R1の肯定割合 83.9% → R2 88.0%(保護者)
- 分かる授業ときめ細やかな指導 R1の肯定割合 85.6% → R2 90.4%(保護者)
- ▽ 家庭、地域、企業との連携 R1の肯定割合 94.2% → R2 91.8%(保護者)
- ▽ 小中一貫・地域学校園の取組 R1の肯定割合 96.4% → R2 66.2%(児童)

一人一人を大切にしまごころ教育、一定の成果が見られました。コロナ禍の下、外部との交流活動は次年度も大きな課題になります。「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」の肯定割合は特に高く、96.8%。さらに活気のある学校づくりを目指します。